

再評価結果（平成16年度事業継続箇所）

担当課：九州地方整備局都市・住宅整備課
担当課長名：栗田 泰正

事業名	ひめいづせん（おおせはし） 亀井通線（大瀬橋）	事業区分	街路	事業主体	延岡市
起終点	自：宮崎県延岡市大瀬町1丁目9-13 至：宮崎県延岡市東本小路7-1			延長	0.6 km
事業概要	本路線は、市街地を流れる1級河川大瀬川により分断された南北地区を結ぶ、非常に重要な役割を果たす幹線街路である。大瀬橋（橋長L=243.5m）の架替えを含む延長0.57kmの2車線道路である。				
H6年度事業化	H3年度都市計画決定 (H年度変更)	H年度用地着手	H12年度工事着手		
全体事業費	43億円	事業進捗率	31.3%	供用済延長	0 km
計画交通量	13,500台/日				
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 1.9 (張事業) 1.9	総費用 (張事業)/(事業全体) 42 / 42億円 (事業費：42.3 / 42.3億円) (維持管理費：0.1 / 0.1億円)	総便益 (張事業)/(事業全体) 84 / 84億円 (走行時間短縮便益：71.8 / 71.8億円) (走行費用減少便益：8.3 / 8.3億円) (交通事故減少便益：3.4 / 3.4億円)	基準年 平成15年	
事業の効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・物流効率化の支援（現道等における、総重量25tの車両など通行できない区間を解消する） ・個性ある道づくり（歴史的景観を活かした道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業） ・災害の備え（架替の必要のある老朽橋梁における通行規制が解消される。） 				
関係する地方公共団体等の意見	重量規制等で地元より改築要望があり、行政サイドとしても早急に取り組む必要性を感じていた。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	H10に本橋上流に県事業で建設した大瀬大橋が完成し、交通量の推移を調査したが、完成後も交通量の変化はほとんどなく、事業の重要性・必要性は変わらない。				
事業の進捗状況、残事業の内容等	架替期間中の迂回路となる仮橋の施工及び新設橋の橋台2基を完了。 今後は、橋脚3基及び上部工の施工を行い、併せて前後の道路改良工事（L=137m）を予定している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	・H10に本橋上流に完成した大瀬大橋への交通量の推移を検討し、仮橋建設の有無を決定する必要性が生じ、工事着手までに時間を要したが、H12より工事に着手し事業促進をおこなっている。				
施設の構造や工法の変更等	特になし				
対応方針	対応方針決定の理由 以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
事業概要図	<p style="text-align: center;">亀井通線（大瀬橋）</p> <p style="text-align: center;">① 亀井通線（大瀬橋） ② 延岡市役所 ③ 城山公園</p>				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。